

## 総務文教 常任委員会報告

総務文教常任委員会は、6月9日に開催され、付託を受けた執行部提出議案3件(分割付託2件を含む)及び請願2件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

平成20年度小郡市一般会計補正予算(第6号)(報告第6号)

奨学金給付費については、高校生に対する年額12万円の奨学金で、平成20年度が24名の枠に対し13名の給付だったため132万円を減額するもの。  
問：13名しか申込みがなかった理由について  
答：この奨学金は一学年8名の枠があり、新規申請対象は、中学3年生だけで、中学校校長の推薦が必要のため、推薦が少なかった年はその後3年間給付者が増えないことになる。

平成20年度は、1年生7名、2年生1名、3年生5名だった。  
平成21年度小郡市一般会計補正予算(第1号)の承認について(議案第36号)

地域WEB構築運営事業、376万円の増額については、

地域活性化の手段として県のふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、地域WEBサイトを構築するために、地域インターネットフォーラムに業務を委託する予定。3名の雇用を予定している。

問：事業展開について  
答：現在ある市民ポータルサイトの機能充実を考えており、出店料等は今後の課題だが、今秋に立ち上げる予定。

## 環境福祉 常任委員会報告

環境福祉常任委員会は、6月10日に開催され、付託を受けた執行部提出議案10件(分割付託2件を含む)の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

小郡市税条例等の一部を改正する条例(報告第4号)

地方税法の改正に伴う改正で、住宅ローン特別控除の延長・拡充や固定資産税の負担調整措置の継続、認定長期優良住宅にかかる固定資産税の減額等を行うもの。  
問：住宅ローン減税による本市への影響について  
答：平成21年度に適用される

市民は、975名で、市民税の税収が約3千万円減収になるが、国からの減収補てん特別交付金により全額補てんされるため影響はない。

小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(報告第5号)

地方税法の改正に伴う改正で、主なものとしては、介護給付金の限度額を9万円から10万円に改正するもの。  
問：改正に伴う国民健康保険税の限度額について  
答：限度額については、医療費分47万円と後期高齢者支援金分12万円は変わらないが、介護給付金が今回の改正により9万円から10万円になったため合計で69万円になる。

平成21年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(報告第9号)

平成20年度が6億2千8百万円予算不足になったため、平成21年度から繰上充用するもの。  
問：一般財源からの繰り入れを行わない理由について  
答：税率を低く抑えて一般財源を繰り入れる市町村もある

が、市民の税金を投入することになるので一概にいいとは考えていないが、今後検討しなければならぬと考えている。  
問：繰上充用は正常な形ではないと思うがどう考えているのか  
答：特別会計は独立で運営し制度を維持していくことが原則なので、受益者に応分の負担をいただくことが大切であり、今後検討していくべきだと考えている。

平成21年度小郡市一般会計補正予算(第1号)の承認について(議案第36号)

予防費、2、954万9千円の増額については、主に妊婦健診の補助を5回から14回に増やすことに伴うもので、看護師等の賃金を62万7千円、妊婦健康診査委託料を2、437万円、妊婦健康診査助成金を447万4千円増額するもの。  
問：妊婦健診の実施方法について  
答：7月以降に健診を受ける方については、受診券を発行しそれ以前の4月から6月までに健診を受けた方については

## 都市建設 常任委員会報告

都市建設常任委員会は、6月11日に開催され、付託を受けた執行部提出議案5件(分割付託2件を含む)の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

平成20年度小郡市一般会計補正予算(第6号)(報告第6号)

小郡・東福童3074号線整備事業については、地権者の承諾が得られなかったため、2、958万8千円を減額するもの。  
問：今後の見通しについて  
答：地権者が遠方で頻繁に会えないため、現在電話やFAX等で交渉しており、地権者の返事を待っている状況である。



支払い等のチェックを行い、申請書を提出していただいて償還払いをさせていただこうと考えている。



▲大原地区排水路整備工事

平成21年度小郡市一般会計補正予算(第1号)の承認について(議案第36号)

大原地区排水路整備事業、130万円の増額については、現在自衛隊の障害防止事業で行っているが、当初県道に計画していた一部を自衛隊敷地内に設置する協議が整ったためその設計委託料を計上するもの。

問・本事業の年次的な計画について

答・平成20年度から着工しており、21、22年度にかけて142mの工事と若山堤の取水施設関係の改修を行う予定。また、平成22、23年度にかけて約160mを整備する予定。

## 主な議案の内容

★平成20年度小郡市一般会計補正予算(第6号)(報告第6号)

公共施設整備基金費、3、311万4千円の増額については、平成20年度に交付された地域活性化・生活対策臨時交付金を翌年度以降に活用するため、その3割を公共施設整備基金に積み立てるもの。

★平成20年度小郡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)(報告第7号)

介護従事者処遇改善臨時特例基金を一般財源に繰り入れることに伴い、財源の組み換えを行うもので、予算全体での増減はない。

★平成20年度小郡市下水道事業特別会計補正予算(第4号)(報告第8号)

事業費の確定に伴う執行残等の整理で、2、358万4千円を減額するもの。

★平成21年度小郡市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)(報告第10号)

平成20年度が638万1千円予算不足になったために、

平成21年度から繰上充用するもの。なお、平成21年度中に県、国等から全額入ってくるため市の負担はない。

★小郡市立幼稚園の授業料等の減免に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第34号)

国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の補助金額が改正されたことに伴い、本条例の入園料、授業料の減限度額について改正するもの。また途中入園児に対しても適用するよう改正している。

★小郡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第35号)

本年4月21日に小坂井地区地区計画が決定、告示されたことに伴い、本地区計画区域内における建築制限の内容を条例に追加するもの。

★平成21年度小郡市一般会計補正予算(第1号)の承認について(議案第36号)

公民館費、備品購入費の増額についての主なものとしては、各校区公民館、おごり交流センターにAED(自動体外式除細動器)を設置するもの。



▲AED(自動体外式除細動器)

★平成21年度小郡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)の承認について(議案第37号)

1号被保険者である65歳以上の被保険者の保険料軽減分を介護従事者処遇改善臨時特例基金から繰り入れるもの。



★平成21年度小郡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の承認について(議案第38号)

平成20年度分の保険料について、転出や死亡等の理由により、平成21年6月1日以降に還付するためのもの。

★平成21年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)の承認について(議案第39号)

借受者1名が、国の貸付金の全額を繰上償還されたことに伴うもの。

★損害賠償額を定め和解することについて(議案第40号)

平成21年3月3日、職員が公務で車を運転中、対向車の側面に衝突したため、損害賠償額を定め和解するもの。

### 小郡市議会会議録の閲覧について

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の小郡市議会会議録が閲覧できます。

なお、平成21年6月定例会の会議録につきましては、8月下旬ごろから閲覧できる予定です。